



河東

ふれあい

60号
発行元
河東地区コミュニティ運営協議会
広報委員会
TEL:35-1837 FAX:35-1864
http://katou-cc.com/

新年のご挨拶



運営協議会会長
伊規須 國光

新年明けましておめでとうございます。
地域の皆様におかれましては輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。
旧年中はコミュニティ事業運営に多大なるご尽力をいただきましたことに、心より感謝申し上げます。おかげをもちまして諸行事なども順調にすすめていただいております。これもひとえに、皆様方のご支援ご協力の賜と厚くお礼申し上げます。
昨年4月14日の熊本地震によります土砂災害などで多くの方々被害にあい、改めて自然災害の怖さと防災対策の重要性を認識したところでした。
本年も、昨年に引き続き安全安心な地域づくり、環境づくり、活気ある地域の再生などに取り組んで参ります。
最後になりますが、周囲の環境が変わるなか「人と人の絆、つながり」を大切に皆様が気軽に立ち寄り、参加でき、元気で明るく楽しいコミセンになれるよう協議会役員一同努力してまいります。

体験教室に行ってきました!

11月20日、小学4年生～6年生(22人)の子ども達と一緒に2年ぶりに大島へ行って来ました。目的は、自主性や協調性の育成です。ガイドさんの案内で、中津宮や沖津宮遥拝所、九州オルレコースを散策し、御嶽山や砲台跡を歩いて回りました。

始めに、「全員無事に大島巡りができますように」という思いで、中津宮参拝をし、ガイドさんのお話を聞きました。



ホットドッグ作り



沖津宮遥拝所



その後、御嶽山登山では、「けっこう険しい山ですね。」「何回登ってもしんどい。」と言いながら登る大人をよそに子ども達は元気いっぱいでした。

砲台跡の近くではヤギや、猪豚と触れ合ったり、また昼食時にはホットドッグ作りに挑戦しました。子ども達は大島の自然に触れ、グループ行動を通じてまたひとつ成長してくれたのではないかと思います。(青少年育成部会 平田恵美)

民生委員・児童委員が交代しました! 《平成29年5月12日 100周年を迎えます》

大正6年に創設された民生委員・児童委員制度は、今年100周年という大きな節目を迎えます。この節目の年、河東地区の民生委員・児童委員17人が一斉に改選されました。コミュニティおよび自治会から新任4人、再任13人、計17人が推薦され、平成28年12月1日厚生労働大臣から委嘱状がそれぞれに交付されました。

地域担当者名簿

担当地域	氏名	再新	期別
平等寺・畑・本村・横山	吉田 多文	再	2
中央台・須恵1～2丁目	永田 三男	再	4
須恵3～4丁目	鬼塚 義夫	再	3
くろえいと	小野 佳子	再	2
平原	荒木 美子	再	3
天平台	山本 武男	再	4
城西ヶ丘1～3丁目	水島 直子	新	1
城西ヶ丘4～6丁目	新谷 良子	新	1
稲元1・6・7丁目	宮原 健	再	4
稲元2～5丁目	廣渡 三千代	新	1
池浦	鶴丸 達四郎	再	3
樟陽台	橋本 末美	再	3
河東・福岡・ひかりヶ丘入口	片山 久恵	新	1
ひかりヶ丘1～3丁目	盛 忠昭	再	3
ひかりヶ丘4～6丁目	馬場 良江	再	5
河東地区 主任児童委員	古本 容子	再	4
河東地区 主任児童委員	吉村あや子	再	4

※ 担当地域の変更について 現行「横山・池浦」⇒変更「平等寺・畑・本村・横山」

新任者は、前任者から各種書類や訪問先紹介など引継ぎを受けて、高齢者宅訪問と並行して地域内の事業所にお伺いして、『歳末助け合い募金』活動など、既に地域にデビューし活動しています。民生委員・児童委員の重要な役割は、“地域の人達と行政との橋渡し役”です。

家族や地域の方々が、“高齢者・障がい者・児童・赤ちゃん”のことで、少しでも心配や気になることがあれば、早めに地域担当の“民生委員・児童委員”に気軽に声掛け、相談してもらえたら助かります。

そのために、各種研修や講演会など地域の変化に敏感に対応しながら、高齢者などの方々が、『安心・安全に!楽しく暮らせる!地域づくり!』を目標に活動いたします。

地域の皆様方、ご支援とご協力をお願いします。最後に、退任された4人の方、ご苦労様でした。

(河東地区民生委員・児童委員協議会 会長 宮原 健)



視察研修 ～人にやさしい福祉機器展～

11月24日に健康福祉部会員12人で視察研修に行ってきました。北九州市小倉北区にある西日本総合展示場で開催の「西日本国際福祉機器展」です。人にやさしい社会には、人にやさしい製品が欠かせません。

会場には福祉車両・車イス・介護用品・認知症対策・介護ロボットの最新情報や、オムツからお箸などの日用品まで61のブースがありました。

来場者は介護施設職員が多いそうで、熱心に尋ねて触れて丁寧に視察していました。私達は初めて見る福祉機器ばかりで説明にも感嘆しきりでした。

リオのオリンピック・パラリンピックのアスリートを思い出して、この機器でリハビリを行い、

2020年に活躍する方もあるだろうと夢を膨らませました。障害を持つ方、高齢で支援や介助が必要な方には、こんな便利な機器や物があることを知りました。

自分の活動の中でこの情報を活かして、困っている方々の自立のアドバイスにしたいと思えます。大変有意義な視察研修でした。

(健康福祉部会 石井喬志)



福祉機器展
シンボルロ